

研修会のお知らせ

今後の各種研修会を下記のとおり開催します。ぜひご参加いただき、職場の人材育成にご活用ください。いずれの研修会も、受付は**9時30分**からで、研修は**10時から16時まで**。会場は**大分県総合社会福祉会館4階大ホール**です。

職場内研修の手法研修

平成30年 9月12日(水)

部下に「言いたいことが伝わっていない」「職場内研修などで、人前で話をするのが難しい」と感じたことはありませんか。「人に説明する」「教える」ということは、なかなか難しいもの。ただ話すだけでは相手には伝わりません。

「人が物事を学ぶ」ということを理解し、「複数を相手にする際のコミュニケーションのコツ」等を実践的に学ぶことで、人を育てる力と表現力・コミュニケーション能力の向上を目指します。施設内研修だけでなく、日常業務でも活用できるスキルを高める研修です。

こんな方に
オススメ!

「なぜか職場内研修の効果が
出ない」、「言いたいことが伝
わっていない」、「職場内の教育
がおざなりになっている」と感じる
ことがある施設長、事務長、中堅職員

チームワーク力向上研修

平成30年 9月26日(水)

福祉という仕事は、スタッフがそれぞれの役割を担い、「チームの一員」として、その責を全うすることで初めて成立するサービスです。スタッフ個人が最高の知識や技術を持っていても、お互いが「チーム」として機能していなければ、質の高いサービスを提供することはできません。

本研修では、チームコミュニケーションの角度から「強いチーム」について再考し、各スタッフの技術と知識を結びつけ、活かすための「チーム作り」の基本について学びます。

こんな方に
オススメ!

「チームが上手くまとまってい
ないと感じる」、「チーム内での
コミュニケーションが上手く
いっていない」、「チームでの情報共有が課題
だ」と感じている施設責任者、現場管理者、
一般職員

メンタルヘルス研修

平成30年 10月17日(水)

「感情の抑制や緊張、忍耐などを不可欠」とする感情労働にも分類される福祉サービス。そこで働く職員にかかるストレスは非常に大きいと言われます。職員のメンタルヘルスは、離職防止の観点からも、事業所にとって大きな問題です。

本研修では、ストレスに対する基礎知識を学ぶことで、ストレスと正しく向かい合うことを促し、併せてその具体的な軽減法について学ぶことで、職員のモチベーション向上を目指します。

こんな方に
オススメ!

「最近、元気、仕事へのやる気
が起きない」、「職員の離職防止、
職場環境改善に取り組みたい」
と感じている施設責任者、現場管理者、担当
職員、一般職員

クレーム対応研修

平成30年 11月14日(水)

人の価値観がますます多様化する現代において、クレームを全く起こさずに組織を運営するのは至難の業です。では、起こってしまったクレームにどう対応するか。その対応方法によっては、お客様と以前より深い信頼関係を構築することも可能です。「クレームの意味」とは、「クレーム発生メカニズム」とは、クレーム対応のプロセスを5つの段階にわけ、整理し、その対応における4つの重要なポイントを学びます。

こんな方に
オススメ!

「クレームに対応する技術を
習得したい」、「クレーム対応の
マニュアルを作りたい」、「ク
レームを活かし、組織の強みに変えてい
きたい」と感じている施設責任者、現場管理者、
一般職員

参加申込について

- ①研修会参加費は、1研修一人につき4,000円(経営協・種別協議会・県社協加入会員価格。会員でない方は6,000円)です。
- ②専用の参加申込書があります。詳しくは、下記事務局までお問い合わせください。
- ③参加費は当日受付にて徴収します。当日、希望者に昼食(500円)斡旋を行います。
- ④申込みにあける個人情報については、本研修の参加者名簿作成に利用し、それ以外の目的での使用及び第三者への開示、提供は行いません。

お問い合わせ先 施設団体支援課担当: 赤峰 TEL: 097-558-0300 FAX: 097-558-1635

善意銀行預託者

平成30年4月～平成30年8月

(敬称略・順不同)

いただいた金銭・物品は、社会福祉施設や各種地域福祉活動、またご指定があった事業等に活用しています。ご協力、ありがとうございました。

- 柳井 貞美
- 株式会社富士設計
- 株式会社 大分放送
- 和田 潔
- 九州納豆組合

【地域福祉振興基金寄附事業】

- 株式会社 リモート
- 有限会社 プランニング・ワン



いつも
ありがとうございます

大分社会福祉

だいふく No.187

発行／平成30年8月

発行・編集／社会福祉法人 大分県社会福祉協議会

〒870-0907 大分市大津町2-1-41 TEL (097)558-0300 FAX (097)558-1635

Eメール info@oitakensyakyo.jp

だいふく

大分社会福祉

No. **187**
2018.9



特集

『生活困窮者』×『ダイバーシティ』で『働き方改革』



Twitter

facebook

やっています

ぜひ登録をお願いします

大分県社協

検索

<http://www.oitakensyakyo.jp>



この広報誌は、共同募金の助成を受けて発行しています

- 九州の高齢者施設1,500名が集う／受審してみませんか
- 美術展、短歌・俳句・川柳展やワークショップを開催
- 「初心忘るべからず」／不登校・引きこもりの理解と支援学ぶ
- 今年も福島の子どもたちと夏を満喫
- 被災地域を助けます／子ども食堂は「みんなの居場所」
- 県下一斉フードドライブ
- 前年度事業と決算の報告
- 大分県共同募金会から
- 研修会のお知らせ／ありがとう善意銀行



『生活困窮者』×『ダイバーシティ』で『働き方改革』

企業向け
ダイバーシティ推進セミナー

日 時: 平成30年7月13日(金) 13:00 ~ 15:45
場 所: 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール
参加者: 78名(県内企業、社会福祉法人、社会福祉協議会、行政等)

リーマンショックを契機に増え続ける「生活困窮者」の支援を進めるため、平成27年4月に始まった「生活困窮者自立支援制度」。その制度による相談支援機関には、現在年間2,000件を越える新規相談者からの相談があります。

就労経験や何らかの資格等はお持ちであるにも関わらず、障がいの疑いやコミュニケーションが困難、急に解雇され自信をなくした等様々な理由で、働くことができない方々。

そうした方々を、相談支援機関が間に入って、企業の人手不足の解消やCSR活動の推進、相談者の自立促進とそれぞれをうまくつなげていく仕組みをつくることを目的に、企業向けセミナーを開催しました。

第1部

『生活困窮者自立支援制度』の概要

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課
生活困窮者自立支援室 室長補佐

米丸 洋氏

開会后、最初に『生活困窮者自立支援制度』が必要になった背景から理念(一般就労に限定しない『働く』ことと地域での生活を支えること)、就労支援に関連する法制度の概要について、厚生労働省から説明いただいた。



第2部

取組報告

大分デバイステクノロジー株式会社 安部 征吾氏

同友会の取組(障がい者問題委員会)や目指すもの、ご自身の会社での取組から見えるものについてお話いただきました。

ポイント

- 『普通』ってなんだ？
- 『就労困難者』を雇用できる会社は『いい会社』

当事者 五味 進一氏

ご自身の経歴(5年間のひきこもり生活から相談まで)や支援を受けた内容の具体、感じたことについてお話いただきました。

ポイント

- 支援を受け、「目標」を見つけることができた。
- 達成したらまた新しい目標、義務を課し、そして成長、前進していく

(社福)中津市社会福祉協議会 吉田 瑞穂氏

特別養護老人ホーム 悠久の里 酒井 久美子氏

中津市の相談状況や社会福祉法人と相談支援機関が連携した「就労準備ステップアップ事業」についてご紹介いただきました。

ポイント

- 相談者に応じたステップが必要。
- 就労意欲と受け入れる場のマッチングが重要。

(社福)生活クラブ風の村 川上 葉子氏

制度設立以前から先進的な取組み(ユニバーサルワーク)を実践されてきた経緯や内容についてご紹介いただきました。

ポイント

- 「働く」というのは「お金を稼ぐ」だけではなく、「人との繋がり」である。(無給就労も必要)

実際に就労訓練事業者として受入れしている例

大分県溪泉寮(大分県社会福祉事業団)

● 大分県溪泉寮とは

『大分県溪泉寮』では、生活に困難を抱える方々を幅広く受け入れ、**地域のセーフティーネット**として機能を発揮してきました。



● 就労訓練事業の開始

平成27年に福祉制度の挟間にある方などに柔軟な対応ができる「**けいせんプラザ(無料低額宿泊所)**」をオープンし、その後、平成29年4月から**就労訓練事業**を開始。

自立相談支援機関と連携して、何らかのお困りごとを抱えた方に対し「生活の立て直し⇒軽作業⇒一般就労」と、段階的な支援の展開を目指して取り組んでいます。



現在就労訓練事業のスタッフをしている津島さんより

この事業をはじめたばかりですが、私もほかの業務との兼務ですので、法人として実施している「福祉農園ハイテク」という部署のスタッフと、連携・協働しながら試行錯誤しています。

ご本人は5年間ほどひきこもっていた期間があるものの、とても真面目で、作業能力も高く、農園のスタッフも「助かっている」と聞いています。

訓練を通して「農業」に大変興味を持ち、自分でも熱心に勉強しています。

ご本人の希望を大切にしながら、一般就労に繋がるよう、自立相談支援機関の方と相談をしています。



現在就労訓練を利用している方より

私は、以前は配送業をしていましたが、諸事情があって辞めた後、5年間ほど自宅にひきこもっていました。しかし、両親も高齢になってきて「長男である自分が家を守らないと！お墓を守らないと！」という思いはありました。

そんな時、臨時福祉給付金のご案内が届いて、「私にはもらう資格なんてないんです」って役場にお断りに行ったんですね。そして役場の人とお話をする中で、たまたまこちらの事業を紹介されて利用するようになったんですが、本当に皆さん親切で、なにより働いている人達がみんな一生懸命作業をされているので、私自身もすごくやる気になりますし、頑張ろうという気持ちがわいてきます。



第3部

セッション(『生活困窮者』×『ダイバーシティ』に向けて)

それぞれの報告を踏まえて、登壇者でセッションを行った。

- 企業に制度や取組みについてもっと知ってほしいし、実際の受入れに際しては、うまく相談機関を使ってほしい。(津島氏、酒井氏)
- 就労に向けたステップアップには「社会福祉法人」との連携だけでなく「企業」の協力が不可欠。(吉田氏)
- 受入れは「環境」のことよりも「皆さんの気持ち」が一番大事。この機会に考えてほしい。(川上氏)
- 「生活困窮者」と一言で言われてもどんな人たちなのか分からないので、もっともっと周知を。企業も一緒に取り組みながら知っていくべきだと思う。(安部氏)



最後に...

生活に何らかのお困りごとを抱え、様々な事情でうまく働くことができない方々が、県内にはまだたくさんいます。まずは、「働く体験」の場の拡大に、企業や法人の皆様のお力を貸していただければと思います。



? ダイバーシティってなに?

多様な人材を積極的に活用しようという考え方のこと。年齢、性格、学歴、価値観などの多様性を受け入れ、広く人材を活用することで生産性を高めようとするマネジメントについていうんだよ。



九州の高齢者施設1,500名が集う

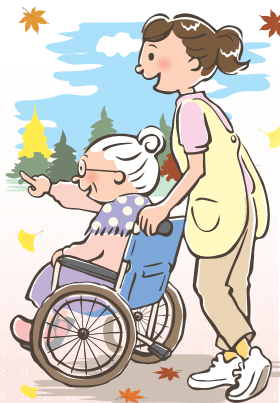
平成30年度九州老人福祉施設職員研究大会



7月19日～20日、iichikoグランシアタや大分市内のホテル等において「九州老人福祉施設職員研究大会(大分大会)」が行われました。本大会は毎年、各県持ち回りで開催されているもので、本年度は大分県で開催され、九州各県から1,500名を超える高齢者福祉施設の役職員の皆さんが参加されました。

バリトン歌手 新見準平さんとピアニスト 後藤秀樹さんによるオープニングアトラクションに始まった1日目、『基調報告』『行政説明』に引き続き、大分大学の衣笠一茂学部長による「これからの老人福祉施設の役割について～『地域公益事業』に期待されるもの～」と題した「記念講演Ⅰ」とプロ車いすランナー廣道純氏による「どうせ、生きるなら～マイナスをプラスに～」と題した「記念講演Ⅱ」が行われました。その後、会場を替え、全体交流会が行われ、ヒットパレードクラブによる演奏で大変盛り上がりしました。

2日目には、8会場に分かれて、「科学的介護の実践」「社会福祉法人・施設の更なる取り組み」など、テーマに沿った施設での様々な取り組みが発表されました。どの発表も大変素晴らしく、参加された方々は熱心に聞き入っていました。



第29回 豊の国ねんりんピック

「美術展」「短歌・俳句・川柳展」を開催



5月9日～14日、大分県立美術館(OPAM)において、「美術展」「短歌・俳句・川柳展」を開催しました。

今年の美術展では、今秋、本県で開催される第33回国民文化祭・第18回全国障害者芸術・文化祭の150日前応援企画として、美術展会期中に、大分県を代表する講師をお招きして様々なワークショップ(下記)を実施しました。

参加した方々は、一流講師の指導により、書や工芸などの制作に取り組み、できあがった作品に大変満足そうでした。

また、13日の表彰式においては、美術館の新見隆館長の『ミュージアムで創作しよう』と題した特別講演に、集まった受賞者は熱心に耳を傾けていました。

今回の美術展の最優秀賞作品(各部門2点計12点)は、全国健康福祉祭とやま大会において、11月3日～6日まで展示されます。



5月10日(木)	書の部「大字書」	研修室	西村 桃霞氏
5月11日(金)	工芸の部 しぼり染め「エコバッグ」	アトリエ	吉井 梢氏
	絵画の部 絵手紙	研修室	原野 彰子氏
	彫刻の部 油粘土細工	アトリエ	柚野 朝男氏
	俳句の部 俳句会	研修室	大分県俳句連盟



さらなる質の向上のために

福祉サービス第三者評価を受審してみませんか？

受審による効果

サービスの改善点があきらかになる

現在、日常的に提供しているサービスが、本当に利用者本位のサービスとして提供されているか確認でき、改善すべきサービスの内容が明らかになります。

目標設定につながる

改善点があきらかになると、サービスの向上に向けた具体的な取組が明らかになり、その達成に向けた目標を設定することができます。

サービス内容の改善

目標が設定されれば、その目標達成のために、具体的なサービス内容が改善され、結果としてサービスの質が向上します。

職員の気づき

評価を受ける課程や自己評価の課程で、改めて利用者本位のサービスに気づき、課題の共有とともに、改善意欲の向上に結びつきます。

利用者や地域からの信頼

評価を受けることで、利用者や地域からの信頼の獲得と向上に繋がり、事業者独自の姿勢や取組をアピールできることにもなります。



お問い合わせ先

福祉サービス評価センターおおいた
大分県大分市大津町2-1-41 大分県総合社会福祉会館内
TEL 097-558-1560 FAX 097-558-1990



いつまでも「初心忘るべからず」 新人職員研修会

県内市町村社会福祉協議会の業務経験が概ね3年未満の職員を対象に研修会を開催しました。研修会には予定していた定員30名を大幅に上回る、52名の方にご参加いただきました。



午前の部では「社協職員」という組織人としての心構えとこれからの地域福祉」と題して大分県社会福祉協議会 地域福祉部の講義を行い、社協組織の成り立ちや役割、求められていること、組織人として意識しておくことなどをお話しました。

午後は、事例を通して理解できるよう「コミュニティソーシャルワーク」のビデオ学習を行い、さらに「社会福祉協議会の使命」と「活動に必要な視点」と題して、国東市社会福祉協議会福祉支援課 松本氏より講義いただきました。

ビデオ学習や講義を通して、参加者から「地域福祉について具体的にイメージができ、勉強になった」「国東市の取組を見習って、積極的に地域に出ていきたい」といった意見が多く寄せられ、参加者にとって得るものが多かったことが伺えました。

研修を通して得た「学びや気づき」「チャレンジしたいと感じたこと」などを持ち帰り、今後ますます地域で活躍されることを願っています。

不登校・引きこもりの理解と支援学ば 主任児童委員研修会



7月24日、大分県教育会館にて「大分県民生委員児童委員協議会主任児童委員研修会」を開催しました。暑い中、230名を超える主任児童委員の皆さんが集まり、交流を深めました。

午前中は、不登校を考える親の会「星の会」代表の加嶋文哉氏が、「不登校・ひきこもりの理解と支援～社会的自立のためには何が必要か～」と題して講義。ご自身の体験談を交えながらお話しされ、笑いあり涙ありの講義でした。

午後は、不登校やひきこもりの子どもに対して、どのような支援をしているのか。今後、どのように関わっていけば良いのかなどについて、午前中の講義をもとに、グループで情報交換をしました。

最後に、参加者から加嶋氏への質疑の時間を設け、10名の委員さんが質問しましたが、加嶋氏がひとつずつ丁寧なアドバイスがあり、とても充実した研修会でした。

講義

わかりやすい話で、とても良かった。

何度も加嶋さんの話を聞いたが、毎回新たな感動がある。

「支援」よりも、まずは「理解」から始めたい。



参加者の声

各地区の状況がわかって参考になった。

グループ討議

皆さん同じ悩みを持って、頑張っていることがわかった。

皆さんのお話しは勉強になり、明日への元気をいただきました。

今年も福島の子どもたちと夏を満喫

ふくしまっ子応援プロジェクト8報告

青く澄み切った空のもと、子どもたちは福岡空港に降り立った。そう、ふくしまっ子たちだ。今年も夏休みに入ってすぐ、外遊びの機会の少ないふくしまっ子に大分・福岡・佐賀で思いっきり遊んでもらおうと毎年企画している「ふくしまっ子応援プロジェクト」を開催。今年で8回目となる。本会と大分県ボランティア連絡協議会、コープおおいた、エフコープ、コープさがとの実行委員会で実施している。今年も福島県新地町から5・6年生18名を招待した。子どもたちは、初日から元気よく、そのテンションが最終日まで続いた。子どもの体力はすごいと改めて感心させられた。

仙台空港から福岡空港を経由し最初に訪れたのは佐賀県だ。21日、佐賀県では、21世紀県民の森で「葉っぱのピンゴゲーム」、竹を切った「竹水鉄砲づくり」を体験した。夜は宿泊施設でコープさがによるハンドベル演奏を楽しみ、天体望遠鏡で月のクレーターや土星や木星を観測して宇宙のロマンを感じた。



翌22日は、吉野ヶ里歴史公園を訪れ、園内見学と勾玉作りで古代のロマンに思いをはせ、佐賀県での旅を終え、大分県へ。大分に着いた一行は、コープおおいたによる歓迎会でレクレーションを楽しみ、夕食はデザートに大分の郷土料理「やせうま」を味わった。

翌23日は、子どもたちが待ちに待った海水浴！東日本大震災による原発事故の影響で、未だ海水浴ができない新地町。そのため、海水浴を一番心待ちにしていた子どもたちは海水浴が初めてという子も多くいて、とても楽しそうに海を満喫していた。



Enjoy Summer



翌24日には「うみたまご」に行き、イルカショー等を観覧し楽しいひと時を過ごした。午後から福岡県へと移動し、九州北部豪雨災害で被災された東峰村を訪れ、ガイドさんによる当時の被災状況に耳を傾けつつ、被災現場を見てもらった。被災しつつも、住民と行政が一緒になって避難・復旧・復興に取り組んできた様子に聞き入った。その後、仮設住宅の住民の皆さんが用意してくれた竹の流しそうめんとバーベキューで楽しく住民の皆さんと交流した。

25日、4泊5日の旅も気がつけば最終日。この日は糸島海岸で地引網を楽しみ、昼食には採れたての新鮮な魚に舌鼓をうった。その後、福岡空港でお別れ式をし、ほとんどの子どもたちが初めて訪れた九州の地での多くの思い出を胸に、福岡空港を飛び立っていった。

4泊5日の旅のなかで、子どもたちは、九州の暑い日ざしのなか、白い肌は次第に茶褐色に、また各地での交流を通じ心の栄養も満たされていき、心身ともに大きく成長していった。

今後も、この九州の地で交流したことを通じて、素直で思いやりあふれる立派な大人へと成長していくことを願っている。



被災した地域をお助けします

～生活福祉資金(緊急小口資金)特例貸付を行っています～



平成30年7月豪雨災害により被災した地域の方で、当座の生活費を必要とされる世帯に対して、特例措置による生活福祉資金(緊急小口資金)の貸付を行っています。

〈概要〉

- ① 貸付対象世帯:平成30年7月豪雨災害にて被災し、当座の生活費を必要とする世帯(低所得に限らない)
- ② 貸付額:原則10万円以内(特に必要な場合は20万円以内)
- ③ 申込窓口:被災した地域や避難先の市町村社会福祉協議会(広島県・岡山県・愛媛県等)



〈貸付状況(一部抜粋)〉

※平成30年8月9日時点

都道府県	貸付件数	貸付金額
岡山県	31件	450万円
広島県	77件	1,010万円
愛媛県	20件	290万円

問い合わせ先 福祉資金部

TEL:097-558-7701 FAX:097-515-7770

地震や豪雨被害など、大規模災害が発生した際には、被災直後からの生活を応急的に支えるため、このような貸付が行われる場合がありますので、ご承知おください。

子ども食堂は、地域にある “みんなの居場所”

6月5日、今年度第1回目の「子ども食堂連絡会」を実施し、子ども食堂運営者・支援者をはじめ、今後子ども食堂の開設を予定している方など44名が参加しました。

連絡会では情報共有に加えて意見交換会を行い、子ども食堂運営者ならではの悩みを相談しあったり、今後どのような食堂にしていきたいかを話し合ったりしました。



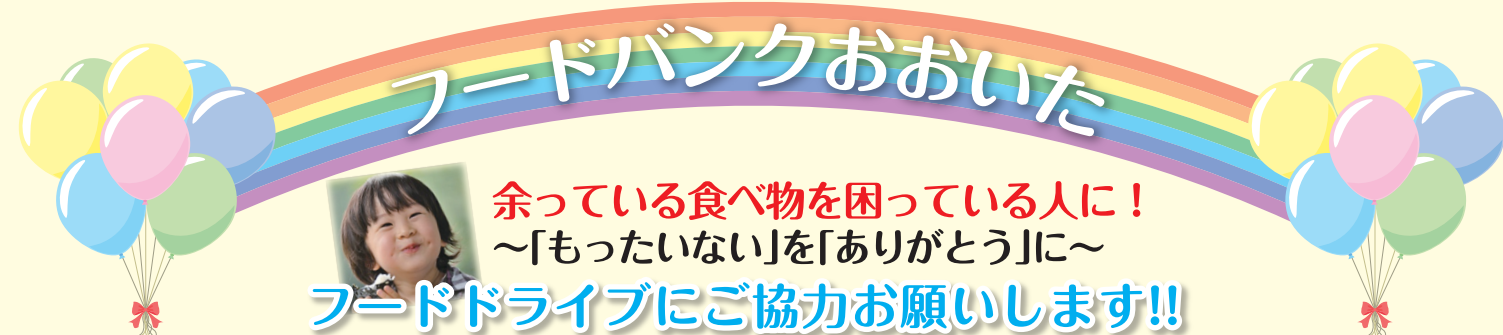
8月16日、再度子ども食堂運営者・支援者が集まり研修会を実施しました。夏は食中毒が発生しやすい季節ということで、「食中毒とその予防について」をテーマに、大分県生活環境部食品・生活衛生課の松川技師にご講義いただきました。

研修会後のアンケートでは、「身のまわりにたくさん菌があふれている事に驚いた」、「衛生の大切さを今まで以上に感じた」という意見が多く、研修で学んだことをこれからの子ども食堂の運営に生かしたいと多くの参加者が感じたようです。

子ども食堂だけでなく、家庭でも発生する食中毒。意外にも、冬も多いそうです。私たちも、日頃から手洗いなどを徹底して、食中毒による事故を発生させないように気をつけましょう。



ちなみに、この日の昼食は、本会職員が作った“チキンカレー”。研修の合間の休憩時間に、参加者全員で食べました☆この日だけの「オリジナルランチオンマット」は、夏らしい海のデザイン！



余っている食べ物を困っている人に！
～「もったいない」を「ありがとう」に～

フードドライブにご協力をお願いします!!

第5回 県下一斉フードドライブ (食品持ち寄りキャンペーン)

本会では、フードバンクおおいた推進協議会及び賛同企業とともに、年に数回「県下一斉フードドライブ」を実施しています。ぜひ、皆様のご家庭で眠っている食品がございましたら、寄贈をお願いします。県内各地から集まった食品は、県内の子ども食堂や「食」にお困りの個人の方へ無償で提供しています。

フードドライブとは・・・

家庭などであまった食料品持ち寄り、「食」に困っている個人や子ども食堂等を支援するためのボランティア活動です。特定の期日(期間)、場所を定めて食品を集めるだけです。個人や地域、職場、団体、学校などの単位で実施できます。



フードドライブ実施期間

お中元・お歳暮の時期の後にキャンペーン期間を設けていますが、その他の期間でも食品寄贈を受付けています。

ご寄贈いただきたいもの

食品(賞味期限が1か月以上あるもの)

穀類(お米、麺類、小麦等)、保存食品(缶詰、瓶詰等)、調味料各種、食用油、インスタント食品、レトルト食品、飲料(ジュース、コーヒー、紅茶等)、乾物(海苔、豆等)、粉ミルク・ベビーフード、ギフトバック(お中元、お歳暮等)。

特に、おかず類やカレーは提供先に喜ばれます！

食品以外(子ども食堂へ提供します)

調理用手袋、使い捨てふきん、マスク、食品用ラップ、ペーパータオル、クッキングペーパー



注意していただきたい点

1. 賞味期限が記載されているもの
2. 賞味期限が1か月以上あるもの
3. 未開封であるもの
4. 破損で中身が出てないもの
5. お米は精米から2か月以内、収穫から2年度以内のもの



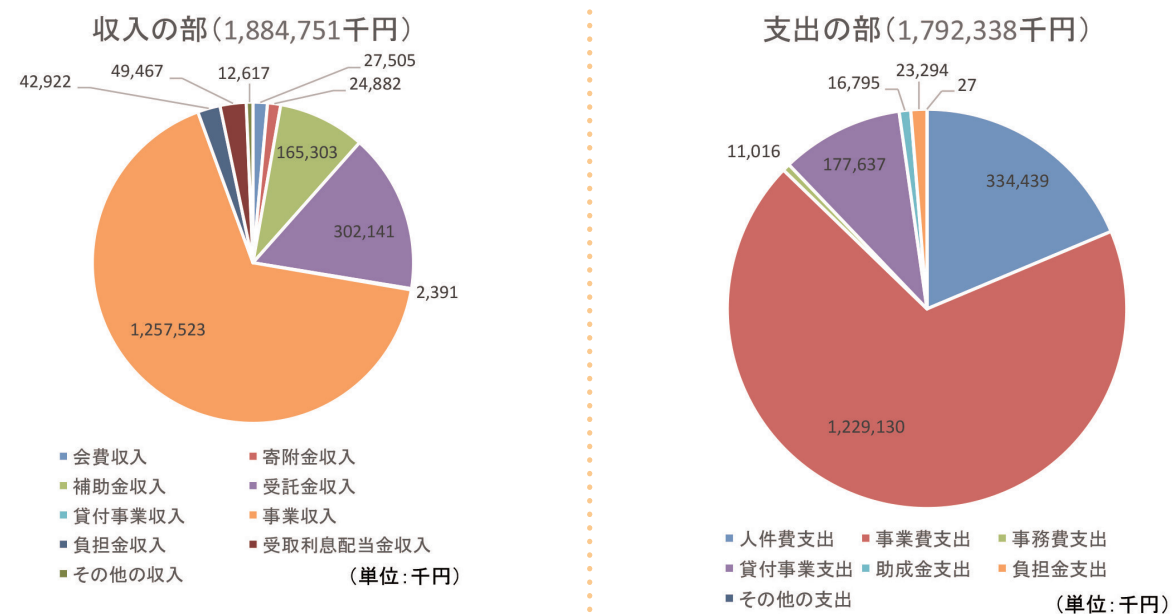
市民活動支援部
フードバンクおおいた

【お問合せ先、寄贈先は】
大分市津町2-1-41 大分県総合社会福祉会館2階 ボランティア・市民活動センター内
電話:097-558-3373 FAX:097-558-1296
Mail:oitavoc@oitavoc.jp

平成29年度 大分県社協事業報告

- 総務・企画情報部**
- 県総合社会福祉会館の運営(利用人数22,413人)
 - 県社協第3次中長期活動計画(だいふくプラン2013)の進行管理
 - ホームページを利用したわかりやすい情報提供
- 地域福祉部**
- 市町村社協活動強化支援の推進(地域福祉推進委員会の運営)
 - 市町村社協役員会議・研修会の開催(地域共生社会の実現に向けた取組等)
 - 生活困窮者自立支援制度への対応支援(大分県生活困窮者就労支援協議会の運営)
 - 子ども食堂開設に向けた手引き書作成・配布(1,280部)
 - 日常生活自立支援事業の推進(広報活動の実施、研修会への参加、相談件数360件)
 - 法人後見体制の整備支援(マニュアルの作成)
- 市民活動支援部**
- いきいきセカンドライフインターンシップの開催
 - ボランティア・市民活動の啓発促進(大分県ボランティア・NPO推進大会の開催)
 - 災害ボランティア活動の推進(災害ボランティアネットワーク連絡協議会等)
 - ふくしまっ子応援プロジェクト7の実施
 - 豊の国ねりんピックの開催、第30回全国健康福祉祭あきた大会への参加(97名)
 - フードバンクおおいたの推進(寄贈食品10.4トン、提供食品9.2トン)
 - 子ども食堂への食料支援
- 福祉資金部**
- 生活福祉資金貸付事業の運営(貸付件数694件)
 - 新たな貸付事業の取り組み(貸付件数251件)
- 施設団体支援部**
- 種別協議会の運営支援
 - おおいた“くらしサポート”事業の推進
 - 地域における公益的な取り組み支援
 - 評価センターおおいた評価・調査実績(第三者評価19件、地域密着型サービス等外部評価57件)
- 社会福祉介護研修センター**
- 介護実習・普及センター事業(介護研修会の開催 延べ11,630人参加)
 - 福祉人材センター事業(就職相談件数3,525件 就職者数99人)
 - 社会福祉関係職員等研修(延べ3,912人参加)
 - 介護支援専門員実務研修受講試験の実施(受験者数1,310人、合格者数275名)
- 身体障害者福祉センター**
- あすぴあフェスタの開催(来場者 延べ1,686人)

平成29年度一般会計資金収支決算報告(事業活動による収支のみ)



今年度の
目標額

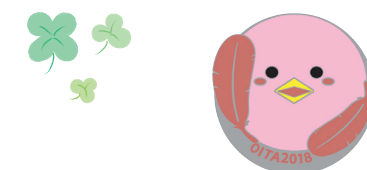
2億83万4千円

一般募金 1億3,580万3千円
歳末募金 6,503万1千円

共同募金は、必要とされる金額をその年の目標額とする計画募金です。これは社会福祉法で定められた、助成を必要とするところへ公平に分配するための方法です。



今年のパッチ・ボールペンのデザインを紹介します ご希望の方は、大分県共同募金会までご連絡ください



大分県立鶴崎工業高等学校
産業デザイン科2年の
中村 佳夏(なかむら よしか)さんの作品

「赤い羽根が幸せを表している。鳥が幸せを運んでくるイメージにして、鳥が幸せの羽根で舞っているようにした」というメッセージが込められています。



大分県立芸術文化短期大学
美術科デザイン専攻プロダクトデザインコース
山中 ももさんの作品

「幸せにする象徴である赤い羽根を(鳥が)人々に配るイメージで描きました」という、温かいメッセージが込められています。

大分のグルメを食べて募金しよう!! 大分グルメ散歩募金

新商品のご案内

カタログの販売期間は9月初旬～11月22日まで。お問い合わせは大分県共同募金会またはHPをご覧ください。(商品の県外及び個人宅への発送は行いません)

(株)Hell Company

大分しいたけ
醤油ラーメン(3食入)
1,000円(募金額200円)



世界農業遺産を味わおう!
あじわいいいたけ3袋付

別府地獄だんご鍋
(4～5人前)

600円(募金額120円)



「そのまま天国いれれば地獄」大分県の名物だんご汁に超激辛「地獄の素」を付属。日本一辛くできる? 地獄だんご鍋です。皆で鍋を囲んで辛勝!

豊後絆屋

鯉ねぎ味噌(椎茸入100g)
500円(募金額100円)



あったかいごはんやおにぎりの具材に♪

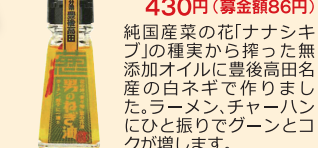
焼きえび(40g)
400円(募金額80円)



カルシウム満点のおつまみおやつです◎

(株)油花

男のねぎ油(45g)
430円(募金額86円)



男前の逸品! ラーメン好きなら旨みにこだわられ!

みのり村

いちじくジャム(120g)
350円(募金額70円)



旬の美味しさを堪能! 素材の味を活かした手作りジャム♥

木蔭のレストラン Adagio (アダージョ)

大分大葉と赤採りトマトカレー(1人前180g)
大分大葉のグリーンカレー(1人前180g)
大分大葉と梅の和風カレー(1人前180g)



いずれも大分大葉がたっぷり入ったトマトカレー・グリーンカレー・和風梅カレーです。他にはないオリジナルな味わいをご家庭でお楽しみ下さい。

レトルトとは思えない本格的な美味しさ!

平成29年度グルメ人気商品TOP3

- 1 ぶんご合鴨めしの素
- 2 塩煎り落花生
- 3 無添加エビせん@くにさき



助成します!

NPO、ボランティア団体、グループ等の地域福祉活動を応援します。お気軽にお問い合わせください。

大分県共同募金会

検索



社会福祉法人 大分県共同募金会

〒870-0907 大分市大津町2丁目1番41号
大分県総合社会福祉会館3階
TEL 097-552-2371 FAX 097-552-6250